

分野横断・分野融合の学びの価値とカリキュラム設計を考えよう！

林 透(金沢大学 教学マネジメントセンター 教授)
定松 淳(東京大学 教養教育高度化機構 特任准教授)
斉藤 準(帯広畜産大学 農学情報基盤センター 准教授)
前田 瞬(長崎県立大学 経営学部 准教授)
山田 寛邦(早稲田大学 大学総合研究センター 講師)

講師略歴

【林 透】専門は質保証・カリキュラム研究。前任の山口大学を経て、2021年より金沢大学に着任し、教学マネジメントの強化や文部科学省「知識集約型社会を支える人材育成事業(DP)」を通じた文理融合・STEAM 教育モデルの構築・発信に尽力。2025年3月一般社団法人学びのイノベーション・プラットフォーム(PLIJ)主催の第1回「PLIJ STEAM・探究グランプリ」受賞に貢献。

【定松 淳】専門は社会学・科学技術社会論。2017-8年度に京都光華女子大学短期大学部にて文部科学省「大学教育再生加速プログラム(AP)」を担当、「チーム AP 合宿」の実施などに携わる。2019年度より現職。東京大学の全学大学院生向け副専攻「科学技術インタープリター養成プログラム」の運営を担当している。

【斉藤 準】専門は理論物理学、学習分析。2009年より北海道大学高等教育推進機構特定専門職員として学習支援、FD および IR 支援を担当した後、2015年より帯広畜産大学人間科学研究部門講師、2022年より現職。専門研究に加え、自然科学実験やデータサイエンス科目のカリキュラム開発、組織的デザイン・PBL 教育の海外動向調査、DX 教材開発等に携わる。

【前田 瞬】専門は経営情報学。2015年度より徳山大学に着任し、文部科学省「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」「私立大学研究ブランディング事業」の運用に携わる。2019年度より活水女子大学、2023年度より長崎県立大学に着任し、それぞれで数理・データサイエンス・AI 教育プログラムの運用に携わる。

【山田 寛邦】専門は学校経営・学習環境デザイン・高等教育。2022年より早稲田大学大学総合研究センターに着任し、教学 IR や教学マネジメント支援等、質保証の業務に従事。また「知識集約型社会を支える人材育成事業(DP)」にて、ソーシャル・イノベーター育成のカリキュラム改革に携わった。2024年度より「総合知入門」(早稲田大学社会科学部)を開講・担当している。

プログラム概要

大学教育において分野横断・分野融合の学びが求められる要因として、「①高等学校における教科横断型教育や探究学習の広がり」「②多様な知を集めて新しい価値やイノベーションを創出できる「総合知」を備えた人材育成」が挙げられます。その一方、2023年公表の中央教育審議会大学分科会『学修者本位の大学教育の実現に向けた今後の振興方策について(審議まとめ)』では、分野横断・分野融合に関連したカリキュラム設計に関し、「具体的な方法論については、大学関係者においても必ずしも具体的な取組のイメージは共有されているものではない」と明言しています。

本企画セッションは、分野横断・分野融合に関連したカリキュラム設計に役立つ STEAM、データサイエンス、総合知、PBL 等の事例や要点の紹介から始まります。そして、参加者同士の学び合いを通して、分野横断・分野融合の学びの価値を理解し、具体的なカリキュラム設計に踏み出す実践的態度を養うことを目的とします。

準備物・事前課題

特になし

主な受講対象者

・分野横断・分野融合に関する授業開発・カリキュラム開発に関わる教職員
・STEAM、データサイエンス、総合知、PBL 等に関する授業・カリキュラムについて興味、関心がある教職員

到達目標

1. 分野横断・分野融合の学びの意義や価値について説明することができる。
2. STEAM、データサイエンス、総合知、PBL といったキーワードの意義や価値について説明することができる。
3. 分野横断・分野融合に関する授業開発の要点や課題を整理し、具体的な企画を行うことができる。
4. カリキュラムを通じた分野横断・分野融合の学びを促進するための要点や課題を整理し、具体的な企画を行うことができる。
5. 新しい授業科目やカリキュラムを開発するために、学内の教職員や学生を巻き込む雰囲気づくりに貢献できる。